



10月3・6・12日は、遠足でした。3日間とも天候に恵まれ、予定通り実施することができました。楽しかったです。おいしかったです。そして、嬉しかったです。

嬉しかったです、というのは遠足そのものでもありますが、遠足に行く前にも嬉しかったことがあります。

それは、あるお母さんが、「うちの子どもは、遠足に行く何日も前から、もういくつ寝ると遠足と、遠足をこころまちにしてるんです」と、お話されていることを耳にしたことでした。「あっ、そうなんだ！ 子どもたちにとっては、それほど楽しい行事なんだ！」と、改めて認識したのでした。担任の先生がどのように遠足について話していたのかは分かりませんが、そのお子様がどこに魅力を感じたのかは分かりませんが、「遠足の魅力」を改めて認識したのでした。そして、その遠足に、わくわくしているお子様がとても微笑ましく思えたのでした。そして、私も嬉しくなったのでした。

あれは、9月3日の「幼稚園入園説明会」の日でした。そのお子様は、たった一人でしたが（一番最初に来ました）、しっかりと椅子にすわっているのです。微動だにしないというのは大げさかもしれませんが、きちんとおすわりしているのです。お口はきりっとむすんでいました。瞳は前方を見据えているようでした。そのあまりにも立派な姿勢、雰囲気には私は圧倒されたことを覚えています。何と言ったかは忘れてしまいましたが、その姿勢がとても立派であることをそのお母さんに話しました。すると、（正確ではありませんが、思い出せる言葉で）「〇〇（娘さんのお名前）は、今日の日をとても楽しみにしていたんです。幼稚園に来られることを、ずっと待っていたんです。楽しみにしていたんです。幼稚園に来ることを、ずっと前から指折り数えていたんです」とお話してくださいました。私は、その〇〇さんの晴れがましい表情・姿を見て、お母様のお話を聞いて、とってもとっても嬉しくなったのでした。幼稚園に務めていることを誇らしく思ったのでした。そして思ったのは、「〇〇さんの期待を裏切るようなことがあってはいけない！ 楽しい幼稚園であらねばならない！」でした。



10月21・22日と、郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会の視察研修がありました。1日目は、平第一幼稚園（学校法人志賀学園）を含めて4つのいわきの幼稚園を視察しました。勉強になりました。2日目は、「震災遺構浪江町立請戸小学校」と「東日本大震災・原子力災害伝承館」を見学しました。左の写真は「東日本大震災・原子力災害伝承館」での1枚です。写真の右には次のような説明書きがありました。「2011年4月22日 宮城県気仙沼市 支援

物資として提供された洋服で、避難所から入学式に向かう南気仙沼小1年の及川知夏さん（右）と高松心さん。 稲垣政則」